令和7年度　村立東海病院における勤務医等の負担軽減計画

職種　医師

R7.4.28

	報告区分	達成目標期間	項目	前年度までの取組み	現状	令和06年度の目標	達成状況	令和07年度の目標	達成状況	目標達成に必要な項目	中間評価　/	達成状況	中間評価　/	達成状況	中間評価　/	達成状況	最終評価　/	達成状況
1	【必須】 医師・看護師等の業務分担	１年間	特定行為研修修了者（NP・NDC）の確保又は育成	特定行為研修に対し1名の看護師が1年間の研修を修了した。	特定行為研修修了者（NDC）のもう1年間の自施設実習を行うこととなっている。 まだ医師業務負担軽減策は図れていない。	特定行為研修受講者の育成	□達成 ■一部 □未達	研修修了となったNDCへの自施設実習のサポートとNDC業務の確立を目指す。また同時に次の特定行為研修者を選出していく。	□達成 ■一部 □未達	実習を通してNDCの勤務環境を整備する。 研修受講希望ヒヤリング及びマッチング面談を実施していく。		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達
2	勤務計画上連続当直を行わない勤務体制	１年間	当直	当直医師の確保 当直翌日の業務軽減策の構築（定期の外来・入院業務等の免除）	当直回数減は多少図れたが、当直翌日業務の軽減は図れていない。	当直回数軽減 医師の年休取得率の向上（目標70%に対し57%）	□達成 □一部 ■未達	当直回数軽減 医師の年休取得率の向上（目標70%）	□達成 □一部 ■未達	当直医師の確保 当直の翌日の業務軽減策の構築（定期の外来・入院業務等の免除）		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達
3	短時間正規雇用の医師の活用	１年間	採用	短時間正職員医師の採用	様々な方面で公募活動を行っているが、確保できていない状況である。	短時間正職員医師の採用	□達成 □一部 ■未達	短時間正職員医師の採用	□達成 □一部 ■未達	公募活動の多様化（業者紹介、大学派遣、専攻医受入等） 近隣大学・医療機関への支援依頼 公募方法の工夫（業者紹介集約契約の実施：リクルートメディカルキャリア）		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達
4	その他	１年間	勤務関係	タイムカードによる勤務時間調査を実施し、勤務時間を把握する。	委員会で報告し、各医師へフィードバックした。 しかし、数名の医師については未だ負担軽減が図れていない。	引き続き時間管理の徹底を図り各医師へ状況報告する。 超過勤務時間60時間内	□達成 ■一部 □未達	引き続き時間管理の徹底を図り各医師へ状況報告する。 超過勤務時間60時間内	□達成 ■一部 □未達	毎月勤務時間調査を行い、本委員会及び労働衛生委員会で確認する。		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達
5	その他	１年間	かかりつけ医の推奨	かかりつけ医療機関となるべく紹介患者のスムーズな受入体制を構築してきた。 クリニックからの紹介に加え、下り搬送システムを近隣病院（ひたちなか総合病院）とホットライン体制を導入ができた。	かかりつけ患者の紹介は受入を推進しているが、病床数に限りがあり受入困難案件もある。	かかりつけ紹介患者の積極的受入と同時に、時間内の下り搬送受入も行い、適正化を図る。	□達成 ■一部 □未達	病病連携及び病診連携についての体制充実を図る。クリニックからの逆紹介について増加を図る。	□達成 ■一部 □未達	クリニック等からの紹介患者受け入れ体制の見直しとクリニック等への働きかけを行う。 また、急性期病院から下り搬送患者も受入れるべく近隣施設への働きかけを行う。		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達
6	その他	１年間	代行入力	医師事務の増員	増員は図れたが育成にまだ時間がかかっている。まず医師事務作業補助業務のマニュアル整備をし、業務の標準化を図ることが肝要である。	医師事務増員が果たせたので、今度は医師事務作業補助業務の効率化を図る。	□達成 ■一部 □未達	採用した医師事務作業補助者の一人立ち（医師事務作業補助者の教育） 医師事務作業補助者自体の負担軽減	□達成 □一部 ■未達	整形外科医師事務作業補助の効率化 医師事務作業補助者の教育 医師事務作業補助者自体の負担軽減するために医師事務作業補助者2名のタスクシフト		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達
7	その他	１年間	代行作成	代行業務の見直し	整備完了した医師事務作業補助業務マニュアルに沿った教育実施中	マニュアルに基づき代行作成できる医師事務作業補助者を増やしていく。	□達成 ■一部 □未達	採用した医師事務作業補助者の一人立ち（医師事務作業補助者の教育） 医師事務作業補助者自体の負担軽減	□達成 □一部 ■未達	医師事務の更なる教育、育成とマニュアルに沿った業務標準化を目指す		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達
8	その他	１年間	病状説明の時間内移行	可能な限り時間内の方針とした。	時間外での病状説明がなくならない。	医師充足を目指す。 病状説明を時間内に実施する。	□達成 □一部 ■未達	医師充足を目指す。 病状説明を時間内に実施する。	□達成 □一部 ■未達	医師確保 外来診療、手術を時間内で完了させる。		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達		□達成 □一部 □未達